

街づくり・NPO活動のトップランナーを目指す

「グラウンドワーク三島」で働きませんか！

NPO法人 グラウンドワーク三島専務理事 渡辺豊博

「グラウンドワーク三島」は、静岡県三島市において英国発祥の環境改善活動「グラウンドワーク」を、日本で最初に導入し、「地域協働」による先進的な街づくりを進め、今年で26年目になりました。ゴミが捨てられ、汚れていた川を市民力と地域力を結集して、清流に蘇らせた「源兵衛川」では、現在、ゲンジボタルの飛翔が見られます。

この「源兵衛川」は、平成28年11月に「世界かんがい施設遺産」に登録され、平成30年1月に「世界水遺産」に登録されました。「世界遺産」のダブル登録は、世界初の快挙であり、市民の努力により「三島の宝」が「世界の宝」として、国際的な評価を受けられたものだと自負しています。

さて今回、いろいろの事情により、現在の仕事に疑問や不安を感じ「転職」を考えている人や、すでに「離職」して新たな職場を探している人などは、「グラウンドワーク三島」で働いて、さらなるキャリアアップをしてみませんか？

「グラウンドワーク三島」は、現在、「NPOビジネス」に力を入れ、社会的企業としての組織強化を進めています。具体的事業として、耕作放棄地を活用した「農業事業」では、有機野菜・三島米・三島そば・水耕栽培のハウストマトなど30種類以上の生鮮野菜の生産に取り組んでいます。売り先は、街中カフェや市内のスーパー、レストランなどで、その品質に高い評価を受けています。現在、20代から30代の若者3名が雇用されて頑張っています。

また、公益的活動としては、環境教育や森づくり、湧水公園の整備、水と緑を活かした街づくりの企画提案など行い、事業化を積極的に展開しています。さらに、英国や韓国、ネパール、台湾などとの国際環境交流や招聘などグローバルな事業にも取り組んでいます。

今回、新たな事業強化にあわせて「正規職員」を募集することにいたしました。給与は、30歳未満で、月200,000円から280,000円、住居手当15,000円、交通費研修費実費などです。6月からの採用を予定していますが、詳細な雇用条件は要相談とします。

ミスターグラウンドワークやNPO・街づくりの先導者と呼ばれている、私「ジャンボ渡辺」とともに、創造的・革新的なNPO活動に挑戦してみませんか？

就職希望者は、まずは、下記のグラウンドワーク三島事務局に、ご連絡ください。



【問合せ】NPO法人グラウンドワーク三島 (担当：事務局 美和)

電話：055-983-0136 E-mail：info@gwmishima.jp FAX：055-973-0022

住所：〒411-0857 静岡県三島市芝本町6-2

URL：http://www.gwmishima.jp/

私達と一緒に働きませんか？ グラウンドワーク三島・現場スタッフ

リーダー・専務理事



渡辺 豊博

子供の頃、川が遊び場でした。しかし、日本の高度成長の中で湧水が減少し、汚れ、傷付いてしまいました。ふるさとの宝物である「水の都・三島」の水辺自然環境を再生すべく、仲間と共に「グラウンドワーク三島」を立ち上げて26年間で過ぎました。しかし、「水の街づくり」の戦いはまだまだ道半ばです。現場での活動は辛く、厳しいと思いますが、多様な経験知を蓄積することにより、人間力や課題解決力、調整力が身に付きます。共に地域を創る活動に参加しませんか。

現在、都留文科大学特任教授、グラウンドワーク三島専務理事・事務局長。ニックネームは「ジャンボさん」。

公益的活動スタッフ



美和 将弘

グラウンドワーク三島の持つフィールドは、本当に魅力的なものばかりです。フィールドワークや環境再生・保全活動に関心のある方、お待ちしております！

農業スタッフ



澤目 純一

三島で最も若い農家集団だと自負しています。型にはまらず、農業を盛り上げる新しくワクワクするような取り組みと一緒に挑戦しましょう！



佐伯 勇

自分を最大限に活かし、三島の街を本気で良くしたいと思っています。一緒に健康的な食を作り、豊かな自然あふれる街にしましょう！



小川 あすか

女性でも農業ができることをもっと広めていきたいと思っています！農業に興味がある方なら、女性でも大歓迎です！

「右手にスコップ・左手に缶ビール」を合言葉に地域を創る多様な活動を展開しています。



源兵衛川の再生活動



環境教育活動



松毛川「千年の森づくり」



三島米の栽培



三島そばの栽培



三島街中カフェの運営